

2020年度 日本医療検査科学会 第1回生理検査委員会
議事録

日時:2020年9月25日 17時～

場所:WEB開催(各委員所属施設)

出席者:古川泰司、竹内正明、大村直子、東條尚子、尾本きよか、湯本真人

欠席者:竹内正明

1. WEB開催にて、各委員確認は行えており、すぐ議事に入った。
2. はじめに、前回議事録の確認を行い、追記については、以後も受け付けることとした。
5月予定の、本年度第1回委員会は中止となったため、本会議が第1回委員会となった。
3. 委員長より、2020生理検査委員会アンケートの施行概要について説明があり、アンケート送付:124施設中、参加表明79施設、回答回収:70施設であったことが報告された。
分野ごとの詳細については、生理検査セミナー動画で開示する事となった。
4. 審議事項として、アンケート結果の回答施設へのフィードバックについて議論された。
アンケート実施要領に、各施設での結果の共有が主目的であることを明示しており、以下の内容と方法で情報送付することとなった。
共有内容: 分野ごとに一任 共有の方法: 事務局にいったん集めて配布
個別の質問・要望については、現時点でのとりまとめは急がず、まずは、各施設の現状について、集計された結果を送付することとした。ただ、分野をまたいで、共通する問題点については、委員会として対応を考慮することとした。
5. 生理検査セミナーについて、オンデマンド配信となったことを踏まえ、当日施行予定であった、参加者アンケートについては、WEBアンケートをコンテンツ配信サイトに用意することとなった。アンケートは、今後生理検査の精度管理事業に参画いただける方のリクルートを主目的とすることで、了承された。
6. 委員会アンケートの今後について、来年度も継続的にアンケート活動を行う必要があるか否か審議された。本件に関しては、分野ごとの状況により対応が異なる状況であるが、心電図、脳波・誘発電位については認定分野の検査について、追加の情報収集が必要であると判断された。呼吸機能検査については、認定分野以外の検査について情報収集が望まれると判断された。超音波領域については、同精度管理に係わる業務内容が特に広範囲であり、集計内容のとりまとめ後再度評価が必要であると判断されたが、上記より今回の4分野でのアンケート活動を行う方向で意見集約が行なわれた。
7. 次に、委員会活動方針として、委員会アンケート結果の展開について審議された。特に今回、アンケート内容に含んだ、心電図・脳波での他施設間シミュレーター巡回配布(代替えアプローチ構築)については、アンケート回答施設のほとんどが参加希望の方向で回答しており、具体的な対応について更に、検討していくこととなった。
8. 次に、アンケート活動を行う分野設定について審議された。ISO 15189認定4分野以外に、生理機能検査室が通常行う検査としては、血圧・脈波、聴力検査などが考慮され、精度管理状況についての情報共有はいずれ必要であると考えられるが、委員長の意向

もあり、来期については今回と同じ分野での活動を行う方向で意見集約された。

9. 活動内容について、参加者アンケートからの展開事業・考えられることについて意見収集したが、特段の提案はなかった。
10. 委員会内規については、来年度中に決定する方向とされた。
11. 新任委員推薦について、神経領域より、東京大学

以上 文責 古川泰司